

令和5年度 日本大学 学生FD CHAmmiT

---

## 事後ミーティング報告書

日本大学 学生FD CHAmmiT スタッフ一同



自主創造  
日本大学

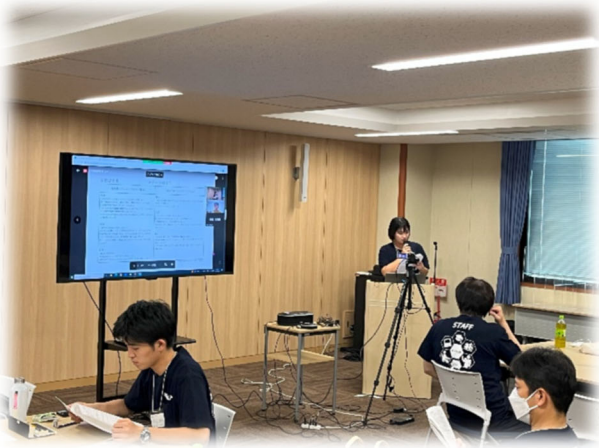
9月16日に日本大学本部で対面にて事後ミーティングを行いました。  
今回は今までのミーティングや本番を振り返って良かった点や反省点、来年への改善点を話し合いました。

本報告書は、私たち学生の声を教職員の皆さんと共有する事で、日本大学の教育をより良いものにしたいという狙いの元に作成・公開しています。本報告書が学生、教職員、そしてそのほかの日本大学に関わる人々にとって、少しでも参考になれば幸いです。



## 学部提案書の全体共有

本番のセッション3で作成した学部提案書から、議論されたポイントを全体共有しました。1グループ2分程度で 22 グループが発表しました。どの班もその学部特有の意見や、またどの学部でも取り入れた方が良いアイデアが多くみられ、本番に活発な話し合いが行われたことが窺えました。





# 今年の CHAmmiT 振り返り

スタッフアンケートについて、以下の観点から、今年の CHAmmiT を振り返りました。

- ①CHAmmiT を終えての率直な感想
- ②本番の活動を振り返り、良かった所や改善したい所
- ③自分の役割を振り返ってみての感想
- ④CHAmmiT 全体を通して、来年に繋げるためにはどうすれば良いと思うか



### ①CHAmmiT を終えての率直な感想

◆スタッフに応募してよかった。

◆連帯感があってよかった。

◆先輩のサポート、オンライン練習会が良かった。

スタッフとして参加してよかったという意見が多くみられました!

### ②本番の活動を振り返り、良かった所や改善したい所

◆雰囲気作りがうまくいった。

◆皆が責任感を持って活動していた。

◆話し合いがヒートアップしすぎてしまい、脱線した。

参加者の意見を引き出していく過程でうまく意見をくみ取れたグループもあれば逆に意見が出過ぎて困ったグループもあったようです。

### ③自分の役割を振り返ってみての感想

◆反省点なし!

◆一部の人に負担がかかっていたかもしれない

役割活動がうまくいったと考えている人もいれば、あまり貢献できなかったと考えている人もいました。

### ④来年に繋げるためにはどうすれば良いと思うか

◆CHAmmiT の前に自学部で話し合う。

◆公募ファシリのオンラインでの練習時間確保。

◆役割分担の人数を改善。

◆CHAmmiT の周知の仕方を考える。



これらの振り返りの内容はこれからの学生 FD CHAmmiT 活動をより良くしていくためのアイデアとして取り入れていきます!



○最後に謝状授与が行われ、集合写真を撮影しました！



昨年よりも短い準備期間の CHAmmit ですが、それぞれがファシリテーター研修の成果を出し切れて、大成功の CHAmmit にすることができました。作成した学部提案書はそれぞれの学部届け、学部だけでなく、日本大学全体の教育改善に繋がっていきます！

ありがとうございました！